

ヨハネスブルグサミットに参加して

日本生協連 組織推進本部
環境事業推進室 大沢志佳子
(有害化学物質削減ネットワーク運営委員)

目次

- 1 . 自己紹介とサミット参加の経緯
- 2 . 現地での行動と感想、今、考えていることなど...

1. 自己紹介とサミット参加の経緯

生協とは...

→「生活の協同」を進めていく組織。経済的役割（事業活動）と社会的役割（消費者団体的側面）

環境への取組みは、事業、活動、どちらもやっています

日本生協連とは...

→ 全国の生協（生活協同組合）の全国連合会

→ 会員生協と日本生協連は独立した法人（本部と支店という関係ではない）

1．自己紹介とサミット参加の経緯

参加の目的

...情報収集

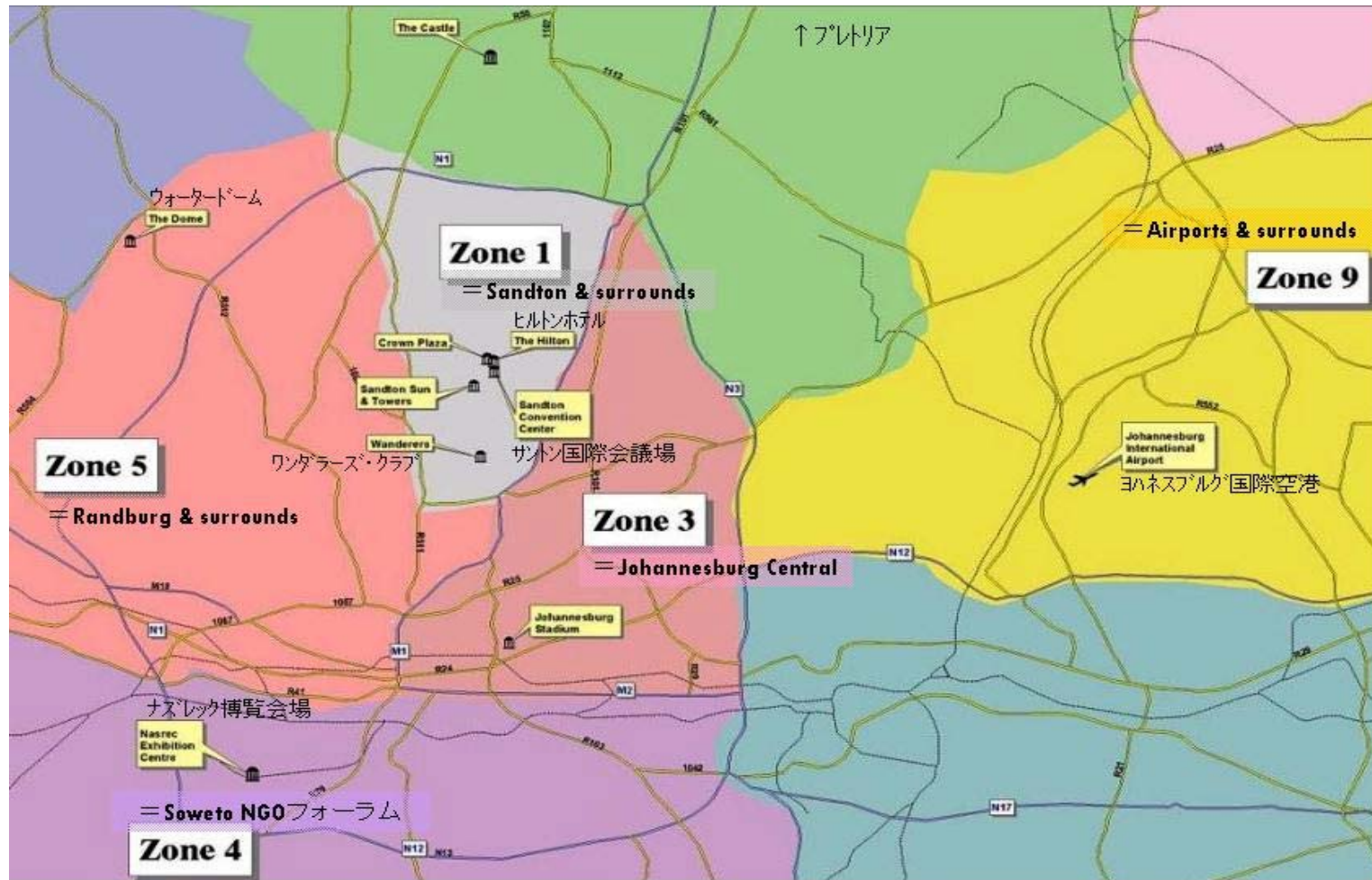
...生協の取組みの紹介

CASAのメンバーと同行

生協全体で、12名の参加

→リオサミット的时候は約50名の参加

現地での行動



現地での行動

- サントン (ZONE 1) ...本会議場
- ナズレック (ZONE 4) ...NGO展示会場
- ウブントゥ...公式展示場
- 移動はすべて専用のシャトルバスだが、道不案内のため、なかなかたどり着かないことも。

現地での行動(サントン編)

開会式(8 / 26)
SCCまで行った
ものの...
開会式の間には
入場できず、
NGOルームに
あるモニターで
見学



現地の行動(ナズレック編)

CASAと共同の
ブースで展示。
生協の取組みの
紹介。
原爆パネルの
設置。



現地での行動(ナズレック編)

南アの
ボランティア
スタッフに
折鶴を教える
(?)



現地での行動(ナズレック編)



体育館の中の
ような会場。

全体を通じて、
あまり混雑は
していなかった。

現地での行動(ウブントゥ編)

日本パビリオンの前。
中には展示だけでなく、
セミナー会場もある。

万博のような雰囲気
の会場。



2 . 感想、今、考えていること など...

少しだけ、南アフリカ(アフリカ大陸)が身近に感じられるようになった。

→ 人との出会いの影響が大きい。

(日本の生協役職員と南アの消費者団体の集合写真)



2 . 感想、 今、 考えていること など...

アパルトヘイト後も、白人と黒人の格差は依然として残る。

...平均年収で約20倍(白人30万R 320万円、
黒人15000R 16万円)

...失業率40%(国全体では30%、黒人40%、ソウェト
45%)

→「黒人はやろうと思ったことが「できる」と思っていない。
自信を持つところから始めなければならない」

2 . 感想、今、考えていること など...

「くらし」という視点で見ると、困っていることなどは実はあまり変わらない。

どこにも「無知」につけこむことをする人間はいる。

→「南アだけでなく日本でも役にたつ活動をしている」...逆もまた有り得る。

→「経験」が(も)一つの力になり得る。

2 . 感想、今、考えていること など...

○「持続可能な...」とは？

環境、経済、社会...

→ 公平性、パートナーシップに関わってくる。

どう構築するか？